

# 東海経済レポート（2015年11月）

～引き続き緩やかな回復基調を維持～

経済調査室（名古屋）

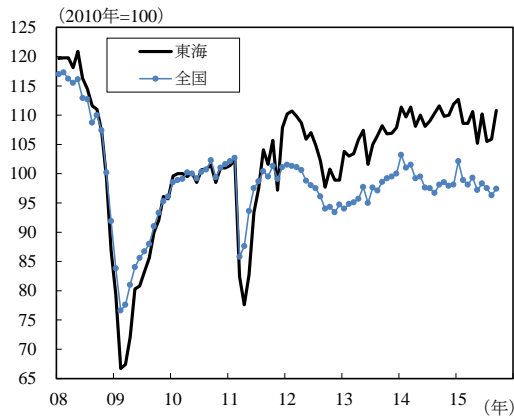
## 1. 足元の経済情勢

- ✓ 生産は、9月に前月比+4.6%と2ヵ月連続で増加。業種別では、弱含みが続いていた電子部品・デバイスの増加が全体を牽引。
- ✓ 設備投資は、その先行指標とされる金属工作機械の国内受注額が9月に前年比+8.4%と、26ヵ月連続でプラス。ただし、プラス幅の1桁台への減速は12ヵ月振り。
- ✓ 輸出額（円ベース）は、10月に前月比▲0.8%と2ヵ月振りに減少。
- ✓ 雇用関連では、9月の愛知県の有効求人倍率が1.55倍と、4ヵ月振りに低下。岐阜県は1.56倍と、1993年3月以来となる水準まで再上昇。三重県は1.31倍と3ヵ月連続の横ばい。
- ✓ 個人消費は、9月の小売主要3業態の販売が前年比+3.9%と、6ヵ月連続でプラス。9月の新車販売台数は前年比▲8.8%と、2ヵ月振りにマイナス。
- ✓ 住宅着工は、9月に年率換算で8.8万戸と、2ヵ月振りに持ち直し。

## 2. 当面の注目点・リスク要因

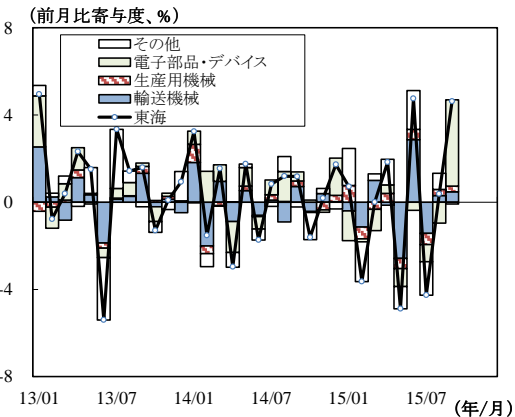
- ✓ 足元までの月次指標からは引き続き、東海経済が緩やかなペースで回復を続けていることがうかがわれる。
- ✓ 海外経済に目を転じると、構造調整の只中にある中国経済の減速や米国FRBの金融緩和「出口戦略」が世界経済に及ぼす直接・間接の影響などに留意が必要な状況。
- ✓ 東海経済にとっての当面の注目点は、①海外経済・金融市場の変調が地域経済へ悪影響を及ぼすことはないか、②設備投資や賃上げを通じた好循環がしっかりとつながっていくか、となる。

**生産①** 9月の鉱工業生産指数は前月比+4.6%と2ヵ月連続で増加。



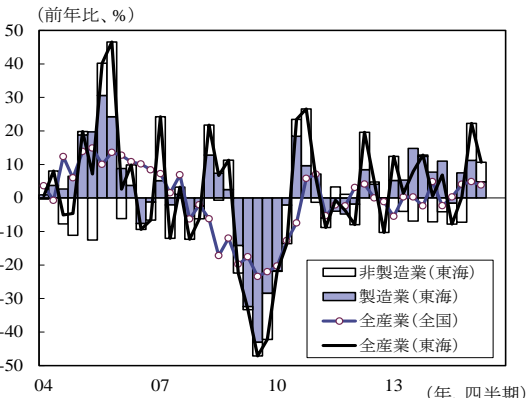
(注)1. 東海は愛知、岐阜、三重の3県。  
2. 季節調整値。  
(資料)中部経済産業局統計等より  
三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

**生産②** 業種別では、電子部品・デバイスが全体を牽引。



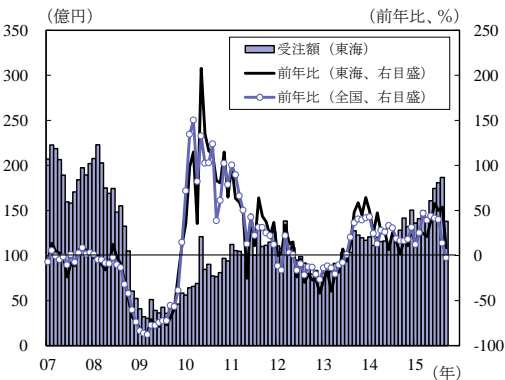
(注)1. 東海は愛知、岐阜、三重の3県。  
2. 季節調整値。  
(資料)中部経済産業局統計等より  
三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

**設備投資** 4-6月期の資本金10億円以上の大企業の設備投資(除くソフトウェア)は、前年比+10.7%と、2四半期続けての2桁増加。



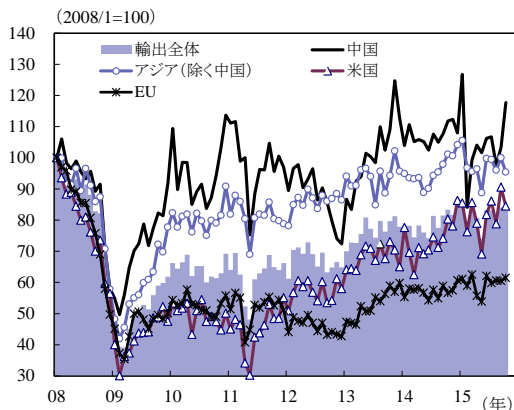
(注)1. 東海は愛知、岐阜、静岡、三重の4県。  
2. 資本金10億円以上の企業を対象。  
(資料)東海財務局統計より三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

**金属工作機械受注(国内)** 設備投資の先行指標とされる金属工作機械の国内受注額は9月に前年比+8.4%と、26ヵ月連続でプラス。但し、1桁台のプラスは12ヵ月振り。



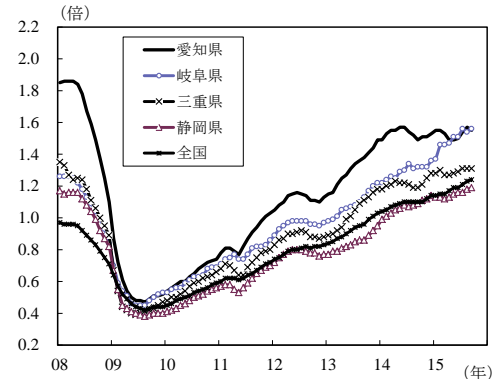
(注)1. 東海は中部経済産業局管内の主要8社。  
2. 受注額は当室による季節調整値。  
(資料)中部経済産業局統計等より  
三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

**輸出** 10月の輸出額(円ベース)は、前月比▲0.8%と2ヵ月振りに減少。



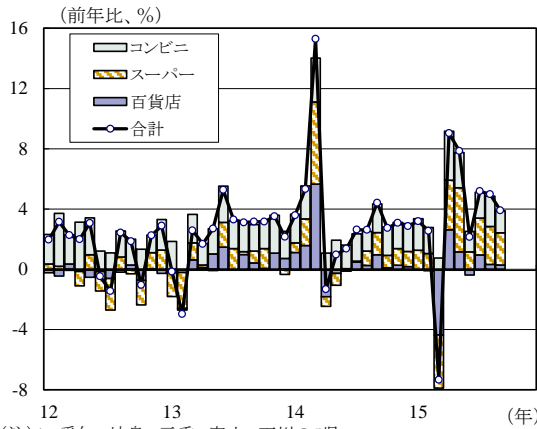
(注)1. 愛知、岐阜、三重、静岡、長野の5県。  
2. 当室による季節調整値。  
(資料)名古屋税関統計より三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

**雇用** 9月の愛知県の有効求人倍率は1.55倍と4ヵ月振りに低下。岐阜県は2ヵ月振りに1993年以来となる水準まで再上昇。三重県は3ヵ月連続で横ばい推移。



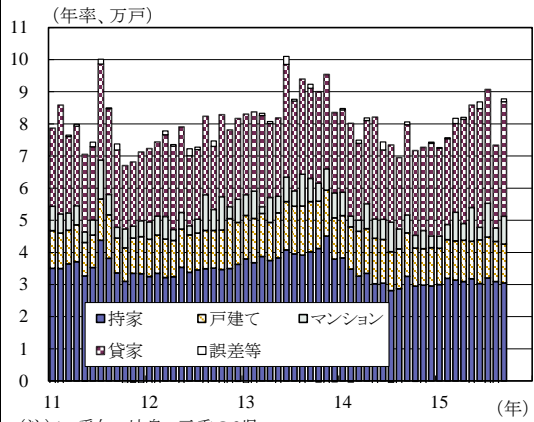
(注)1. 有効求人倍率=有効求人数÷有効求職者数。  
2. 季節調整値。  
(資料)厚生労働省統計より三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

**個人消費** 9月の小売主要3業態の販売は前年比+3.9%と、6ヵ月連続でプラス。



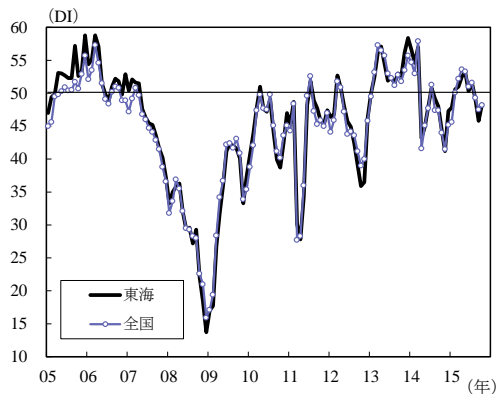
(注)1. 愛知、岐阜、三重、富山、石川の5県。  
2. 当室による季節調整値。  
(資料) 中部経済産業局統計より三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

**住宅投資** 9月の住宅着工戸数は年率換算で8.8万戸と、2ヵ月振りに持ち直した。



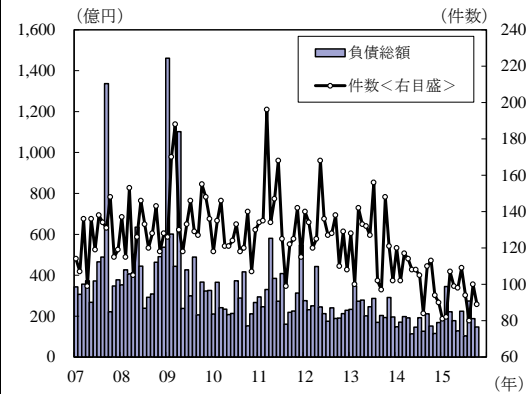
(注)1. 愛知、岐阜、三重の3県。  
2. 当室による季節調整値。  
(資料) 国土交通省統計より三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

**景気ウォッチャー調査** 10月の景気現状判断DIは48.3と、3ヵ月連続で50.0を下回った。



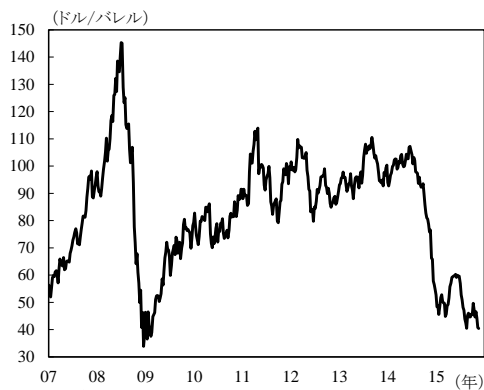
(資料) 内閣府資料より三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

**倒産件数** 10月の企業倒産件数は89件と、前年比▲21.2%の減少。負債総額は同▲3.1%と減少。



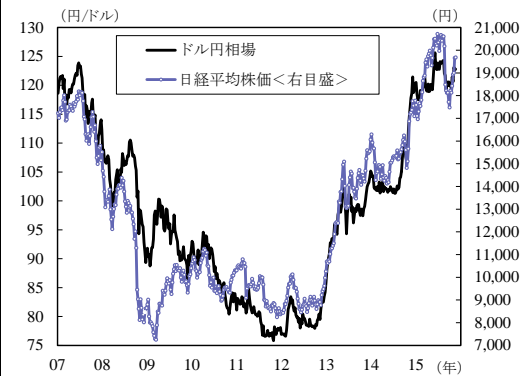
(注) 愛知、岐阜、三重、静岡、長野の5県。  
(資料) 東京商工リサーチ資料より三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

**原油価格** WTI先物は、中国景気の先行き懸念や、米国の利上げ観測に伴うドル高等を受けて軟調に推移。一時は40ドル台まで下落。



(注) 原油価格はWTI先物。  
(資料) Bloombergより三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

**円相場・株価** FRBの12月利上げ観測の高まり等から、1ドル122円台までドル高・円安が進行。日経平均株価は円安を好感し、19,500円前後まで上昇。



(資料) Bloombergより三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

(H27.11.26 中村 健彦 takehiko\_nakamura@mufg.jp)

当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、金融商品の売買や投資など何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくお願い申し上げます。当資料は信頼できるとされる情報に基づいて作成されていますが、当室はその正確性を保証するものではありません。内容は予告なしに変更することがありますので、予めご了承下さい。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されています。全文または一部を転載する場合は出所を明記してください。